

Iwatani

2025年3月期 決算説明資料

（見通しに関する注意事項）

将来にわたる部分につきましては、予想に基づくものであり、確約や保証を与えるものではありません。
当然のことながら、予想と違う結果と成ることがあることを十分にご認識の上ご活用ください。

2025年5月21日
岩谷産業株式会社

〔証券コード 8088〕

目次

1. 2025年3月期 決算概況

- 決算ハイライト
- 連結経営成績
- 連結経営成績（セグメント別）
- セグメント別営業利益分析
- 貸借対照表（連結）

2. 2026年3月期 通期業績予想

- 通期業績予想
- セグメント別見通し

3. 中期経営計画「PLAN27」の進捗

- 経営数値目標
（資本コストや株価を意識した経営）
- 資本政策
- 重点施策の進捗

4. コスモエネルギーホールディングス株式会社との資本業務提携について

2025年3月期 決算概況

2025年3月期 決算ハイライト

▶ 売上高は増収。営業利益、経常利益、当期純利益は減益。

2025年3月期 決算概要

■増収要因：売上高は、L Pガス輸入価格が前年度を上回り、販売価格が上昇したことに加え、工業分野向け商品が堅調に推移した結果、全セグメントで増収。

(2024年度平均 円建CP：93,749円/トン (CP：612ドル/トン 為替：153.36円/ドル)

(2023年度平均 円建CP：81,774円/トン (CP：569ドル/トン 為替：143.50円/ドル)

■減益要因：営業利益は、主に産業ガス・機械事業において中国を中心にヘリウム市況が軟化したこと等により、減益。

※前期に行ったコスモエネルギーホールディングスの株式追加取得にかかる、「負ののれん」の金額が確定したため、前期の経常利益、当期純利益が、昨年発表した金額から、それぞれ38億95百万円減少しています。本資料に記載されている、前期のデータは全て、上記内容を反映しています。

売上高

8,830億円 前期比 +351億円 (+4.1%)

営業利益

462億円 前期比 ▲44億円 (▲8.7%)

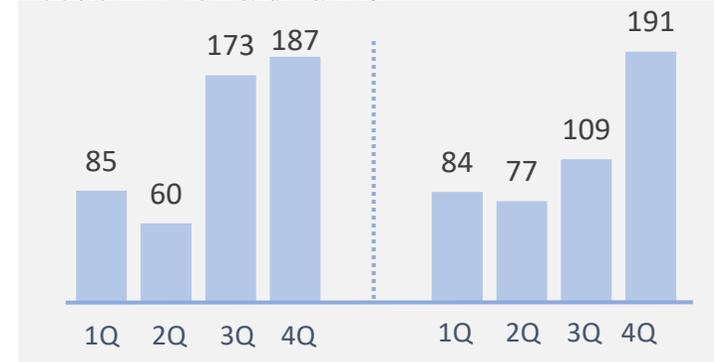
経常利益

614億円 前期比 ▲8億円 (▲1.3%)

当期純利益

404億円 前期比 ▲30億円 (▲6.9%)

■営業利益 四半期推移 (億円)

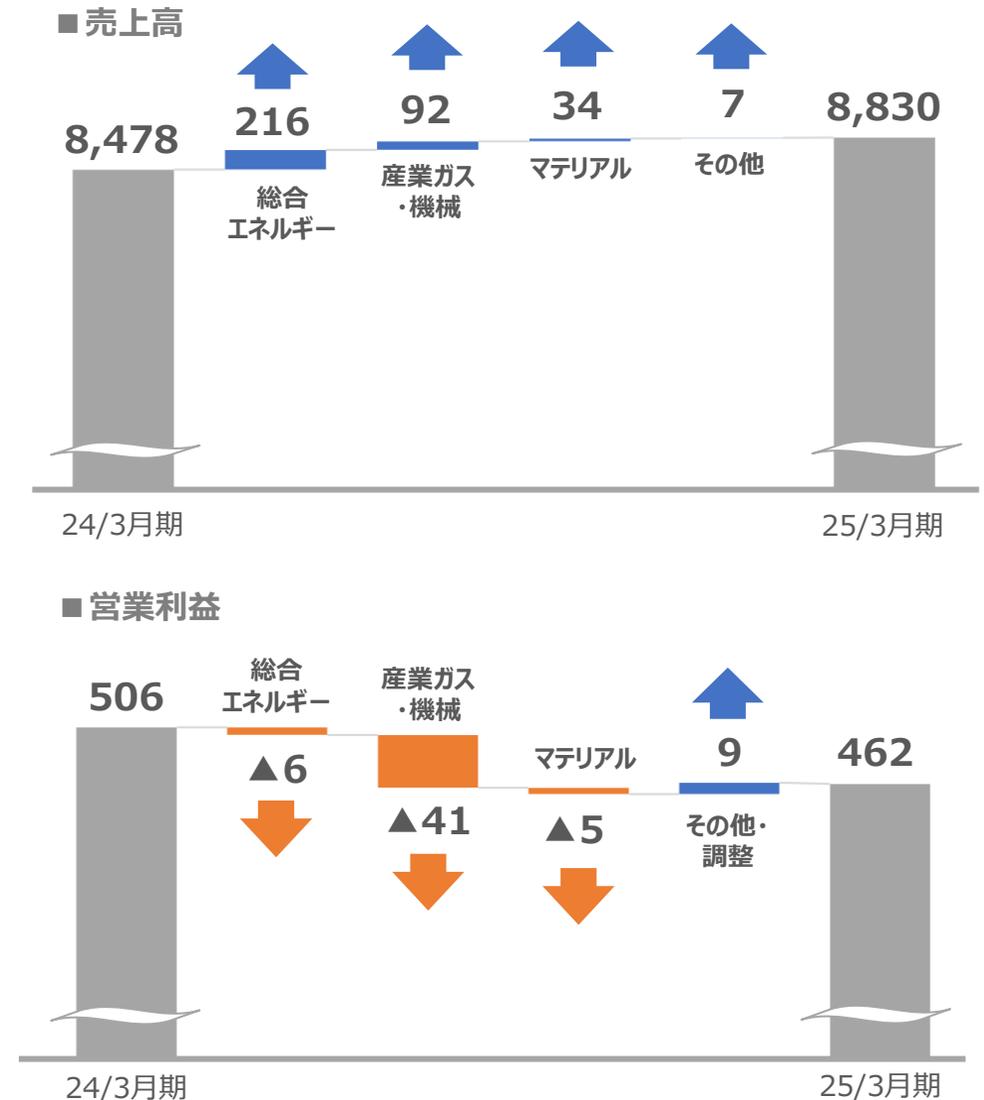


24/3月期

25/3月期

連結経営成績

	2025/3月期 実績	2024/3月期 実績	増減額 (増減率)	2025/3月期 通期予想
売上高	8,830	8,478	+351 (+4.1%)	9,020
売上総利益	2,343	2,294	+48 (+2.1%)	—
営業利益	462	506	▲44 (▲8.7%)	527
市況要因除く 営業利益	460	498	▲38 (▲7.8%)	527
営業外損益	152	116	+35 (+30.7%)	—
<div style="border: 1px dashed black; padding: 2px;"> コスモエネルギーHD に関連する 持分法投資損益 </div>	91	54	+36 (+66.2%)	159
経常利益	614	623	▲8 (▲1.3%)	728
親会社株主に帰属 する当期純利益	404	434	▲30 (▲6.9%)	540



連結経営成績（セグメント別）

	2025/3月期 実績	2024/3月期 実績	増減額	増減率
売上高	8,830	8,478	+351	+4.1%
■ 総合エネルギー事業	3,787	3,571	+216	+6.1%
■ 産業ガス・機械事業	2,714	2,621	+92	+3.5%
■ マテリアル事業	2,016	1,982	+34	+1.7%
■ その他	310	303	+7	+2.5%
営業利益	462	506	▲44	▲8.7%
■ 総合エネルギー事業	195	201	▲6	▲3.2%
■ 産業ガス・機械事業	175	217	▲41	▲19.0%
■ マテリアル事業	117	123	▲5	▲4.5%
■ その他・調整額	▲26	▲35	+9	—
市況要因を除く営業利益	460	498	▲38	▲7.8%
（コスモエネルギーHDに関連する 持分法投資損益）	91	54	+36	+66.2%
経常利益	614	623	▲8	▲1.3%
親会社株主に帰属する当期純利益	404	434	▲30	▲6.9%

LPガス輸入価格の変動による増減益効果（イメージ）

前提 ①卸売価格はLPガス輸入価格に連動

LPガス輸入価格
(中東玉と米国玉で構成)

リンク

卸売価格

②輸入～販売の期間は約3カ月



LPガス輸入
価格が変動

短期的に業績に影響が生じる（市況要因の発生）

（LPガス輸入価格が元の水準に戻れば影響はゼロ）※

上昇局面

安い在庫を高値で販売

売値の基準

増益効果

原価の基準

LPガス輸入価格
(約3カ月)

下落局面

高い在庫を安値で販売

減益効果

原価の基準

売値の基準

LPガス輸入価格

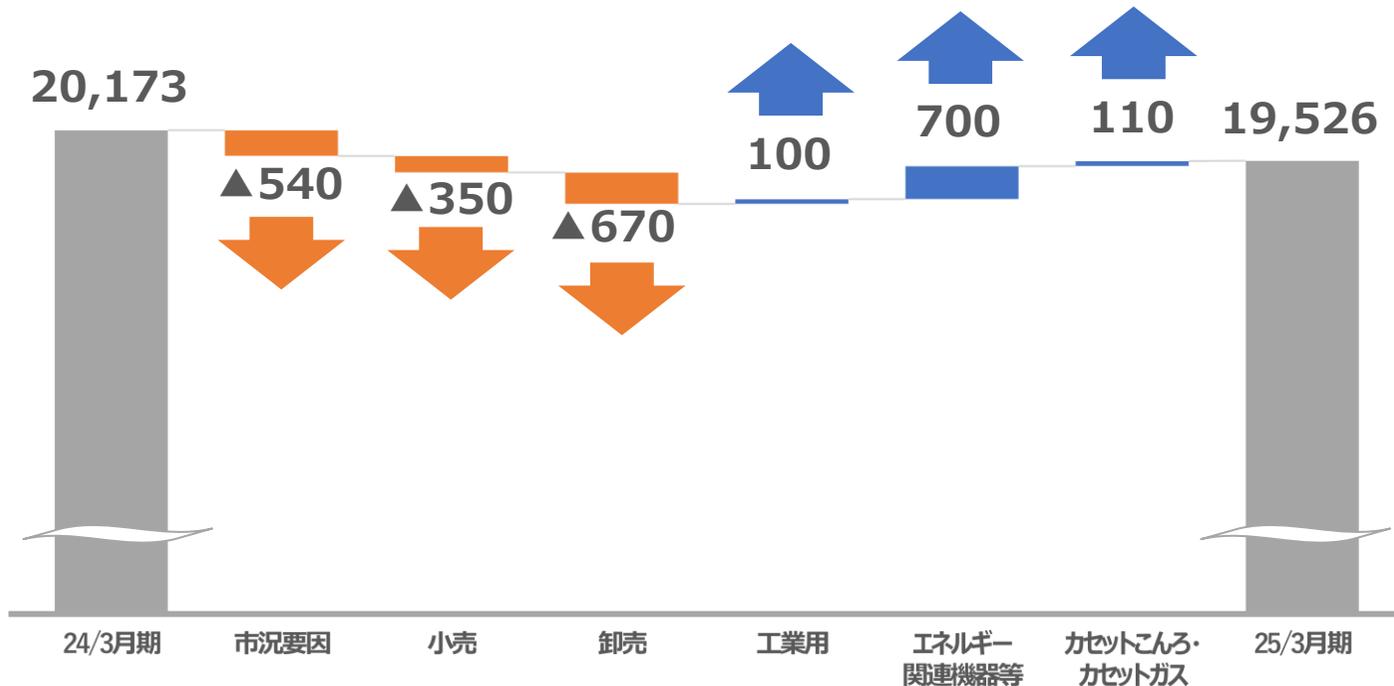
※ 在庫量・販売時期・販売数量によって実際の業績への影響は変動します

セグメント別営業利益分析（総合エネルギー事業）

決算実績

	2025/3月期 実績	2024/3月期 実績	増減額	増減率	2025/3月期 予想	達成率
売上高	378,782	357,133	+21,649	+6.1%	384,000	98.6%
営業利益	19,526	20,173	▲646	▲3.2%	21,000	93.0%
市況要因除く 営業利益	19,308	19,415	▲106	▲0.5%	21,000	91.9%

営業利益増減分析



主な営業利益増減要因

■市況要因 ▲540

(億円)	1Q	2Q	上期 累計	3Q	4Q	通期 累計
当期	▲0.7	▲9.8	▲10.5	+3.6	+9.1	+2.1
前期	▲17.3	▲34.0	▲51.3	+32.6	+26.3	+7.5
差異	+16.6	+24.2	+40.8	▲29.0	▲17.2	▲5.4

■小売 ▲350

- ・新規連結により販売数量は増加
- ・コストが上昇し、収益性が低下

■卸売 ▲670

- ・LPガスの販売数量の減少

■工業用 +100

- ・燃料転換の推進により、販売が伸長
- ・増熱用LPガスの需要が増加

■エネルギー関連機器等 +700

- ・住設機器や空調、給湯器等の販売が堅調

■カセットこんろ・カセットガス +110

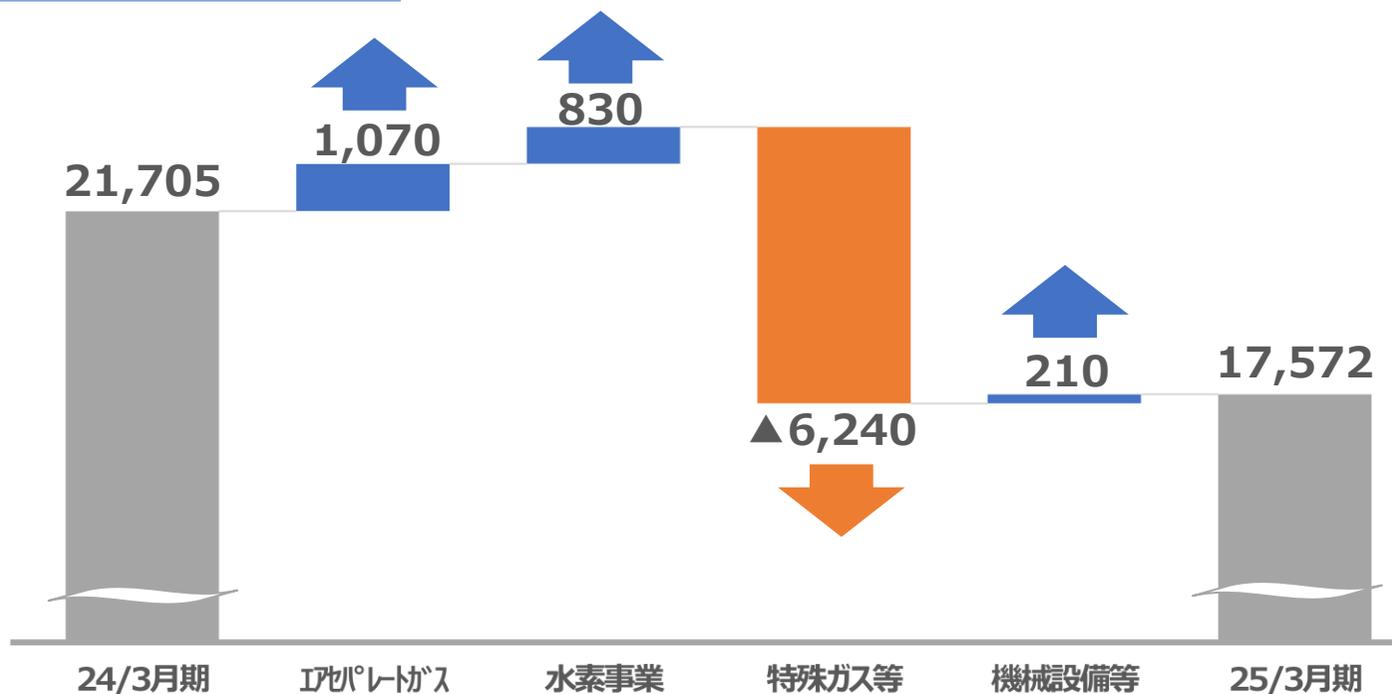
- ・国内外ともに販売が増加

セグメント別営業利益分析（産業ガス・機械事業）

決算実績

	2025/3月期 実績	2024/3月期 実績	増減額	増減率	2025/3月期 予想	達成率
売上高	271,449	262,169	+9,279	+3.5%	275,000	98.7%
営業利益	17,572	21,705	▲4,133	▲19.0%	22,000	79.9%

営業利益増減分析



Copyright © Iwatani Corporation. All rights reserved.

主な営業利益増減要因

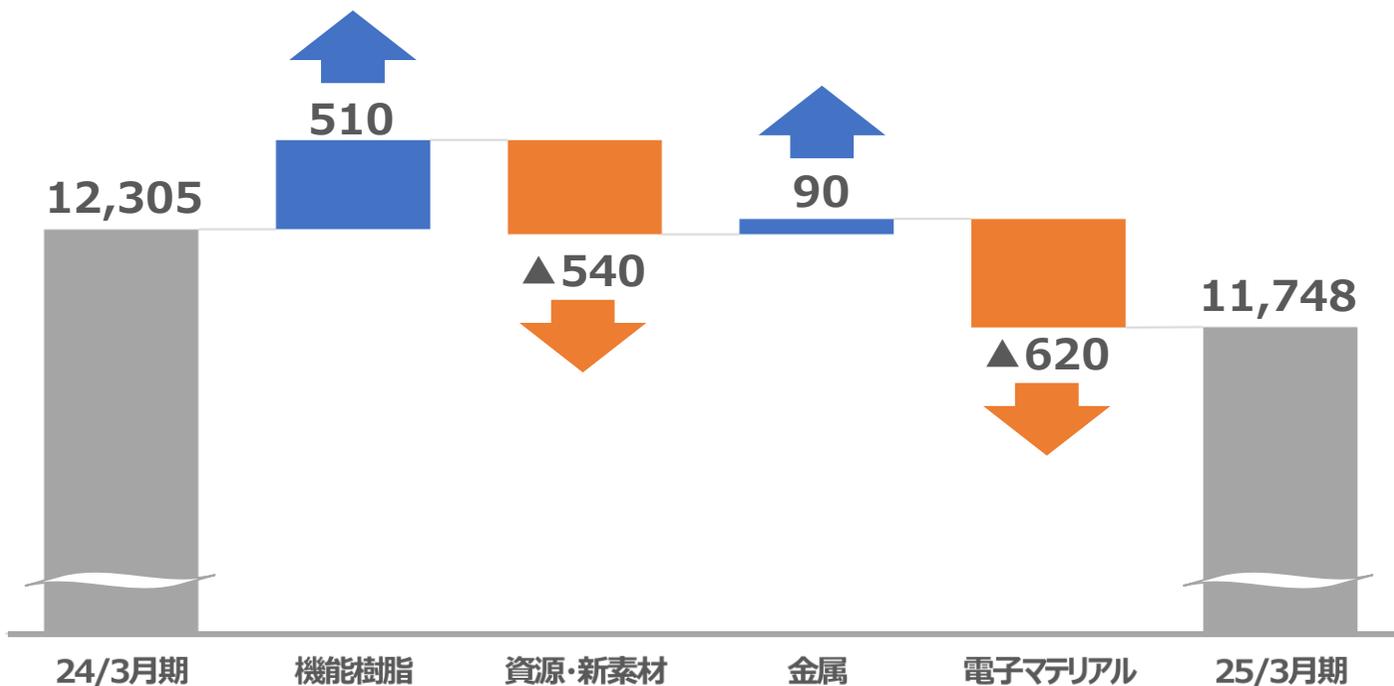
- **エアセパレートガス +1,070**
 - ・電子部品業界向けを中心に販売数量が堅調に推移
- **水素事業 +830**
 - ・宇宙開発や脱炭素用途として液化水素の販売数量が増加
- **特殊ガス等 ▲6,240**
 - ・国内外で冷媒事業が拡大
 - ・中国を中心にヘリウム市況が軟化
- **機械設備等 +210**
 - ・脱炭素用途・脱硝用途のアンモニア供給設備の販売が伸長
 - ・電子部材の販売が増加

セグメント別営業利益分析（マテリアル事業）

決算実績

	2025/3月期 実績	2024/3月期 実績	増減額	増減率	2025/3月期 予想	達成率
売上高	201,685	198,243	+3,442	+1.7%	210,500	95.8%
営業利益	11,748	12,305	▲557	▲4.5%	12,800	91.8%

営業利益増減分析



主な営業利益増減要因

- 機能樹脂 +510**
 - ・エアコン向け成形品や消費者向け樹脂製品が好調
 - ・日用品向けを中心に樹脂原料の販売が伸長
- 資源・新素材 ▲540**
 - ・バイオマス燃料の売上が伸長
 - ・ミネラルサンドは豪州の自社鉱区での収益性が低下
- 金属 +90**
 - ・食品包装向けアルミ箔の売上が伸長
 - ・ステンレスの販売価格の下落
- 電子マテリアル ▲620**
 - ・次世代自動車向け二次電池材料の売上が低調

貸借対照表（連結）

- 売上債権や設備投資の実施等により総資産が増加。
- 国内外での投資に伴う資金調達や運転資金の増加等により、有利子負債が増加。

（単位：億円）

	2025年 3月末	2024年 3月末	増減額	主な増減理由・備考
流動資産	3,284	3,095	+188	売上債権の増加等
（有形固定資産）	2,402	2,254	+147	
（無形固定資産）	477	365	+112	
（投資その他の資産）	2,557	2,590	▲32	
固定資産	5,437	5,209	+228	設備投資の実施等により増加
総資産	8,721	8,304	+416	
（流動負債）	2,549	3,125	▲575	短期借入金が1,047億円減少
（固定負債）	2,200	1,489	+710	社債が300億円、長期借入金が415億円増加
負債	4,750	4,614	+135	有利子負債 2,644億円（+99億円） 有利子負債依存度 30.3%
（自己資本）	3,860	3,584	+276	自己資本比率 44.3%
（非支配株主持分）	111	106	+5	
純資産	3,971	3,690	+281	
負債・純資産	8,721	8,304	+416	

2026年3月期 通期業績予想

2026年3月期 通期業績予想

(単位：億円)

	2026/3月期 予想	2025/3月期 実績	増減額	増減率
売上高	9,364	8,830	+533	+6.0%
■ 総合エネルギー事業	4,060	3,787	+272	+7.2%
■ 産業ガス・機械事業	2,759	2,714	+44	+1.6%
■ マテリアル事業	2,235	2,016	+218	+10.8%
■ その他	310	310	▲0	▲0.3%
営業利益	491	462	+28	+6.2%
■ 総合エネルギー事業	219	195	+23	+12.2%
■ 産業ガス・機械事業	188	175	+12	+7.0%
■ マテリアル事業	129	117	+11	+9.8%
■ その他・調整額	▲45	▲26	▲18	-
市況要因を除く営業利益	491	460	+30	+6.7%
(コスモエネルギーHDに関連する 持分法投資損益)	106	91	+14	+16.4%
経常利益	631	614	+16	+2.6%
親会社株主に帰属する当期純利益	488	404	+83	+20.6%

想定レート

為替 145円/\$

L P ガス輸入価格 650 \$ / トン

(2024年度実績)

為替 153.36円/\$

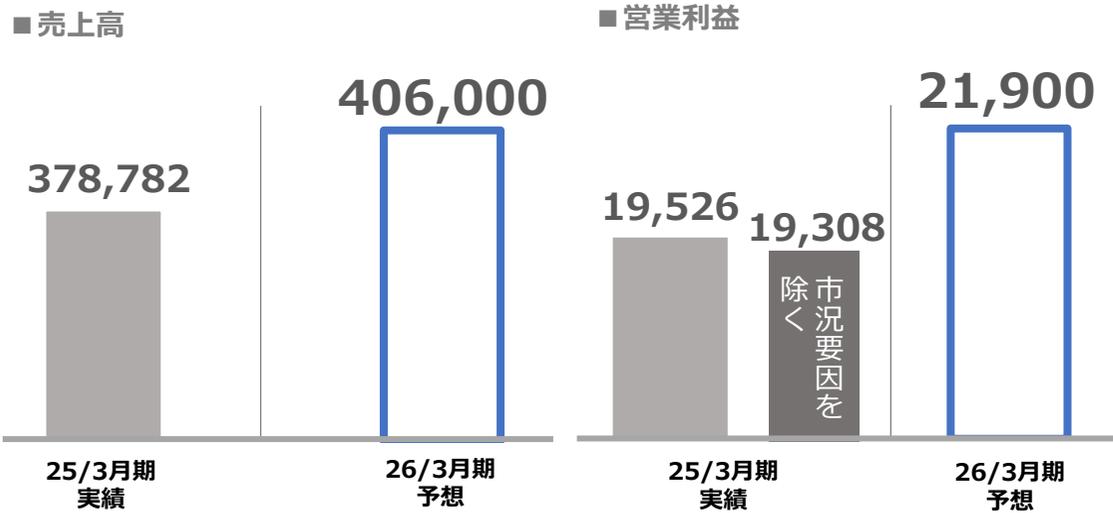
L P ガス輸入価格 612 \$ / トン

配当予想

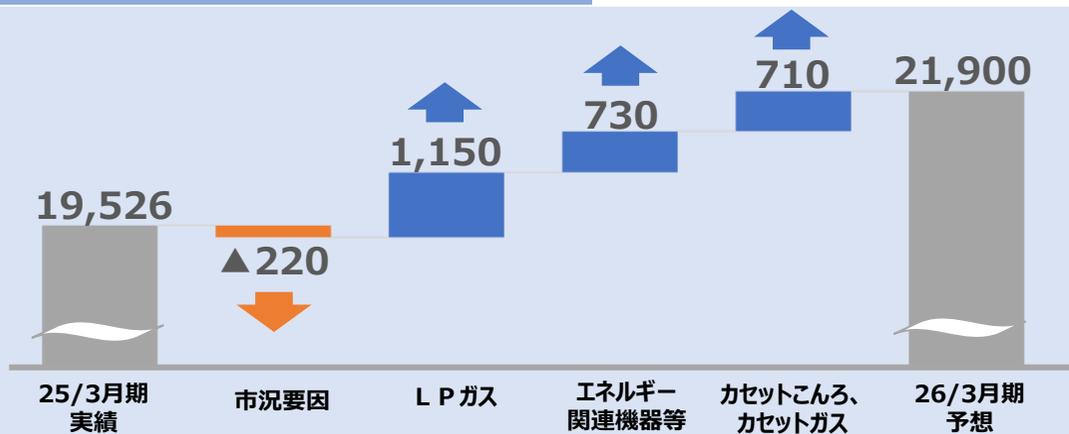
2026年3月期 47.0円/株

総合エネルギー事業の見通し

売上高・営業利益 見通し



営業利益増減見通し



通期業績予想の達成に向けて

・L P ガス事業の拡大

- ・ M&Aを中心としたL P ガス直売顧客数の拡大による販売数量の増加
- ・ 重油からの燃料転換の推進とカーボンオフセットガスの拡販を通じたエネルギーの低炭素化への取り組み強化
- ・ 物流合理化による収益性改善

・エネルギー関連機器等の拡販

- ・ カーボンニュートラル商材（高効率給湯器、太陽光、蓄電池等）の拡販
- ・ B C P 対策に向けたL P ガス非常用発電機やG H P の拡販

・カートリッジガス事業の拡大

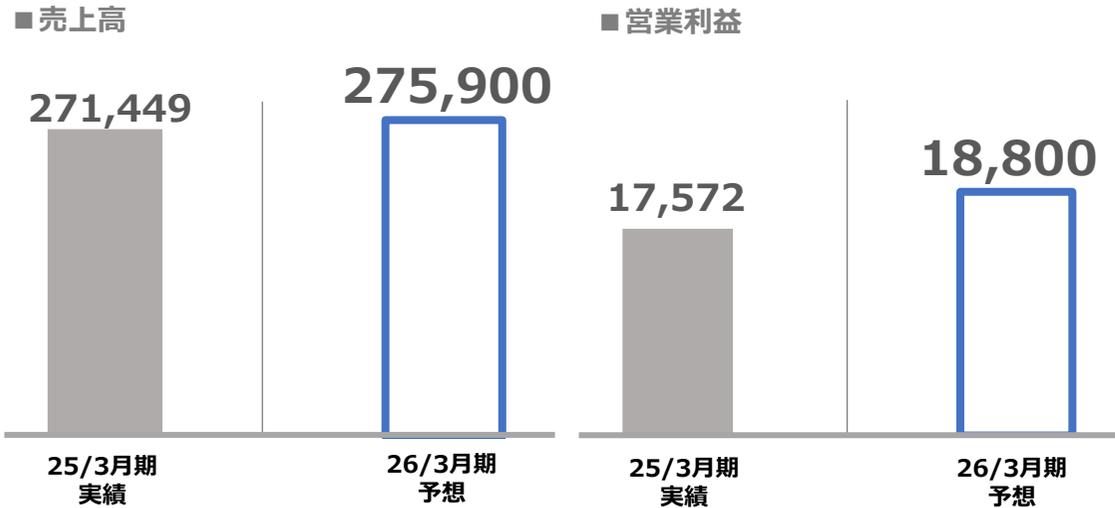
- ・ 新商品開発を通じた需要創出による国内市場での拡販
- ・ 地域のニーズに合わせた商品ラインアップを揃え、東南アジアを中心に海外事業を拡大

業績が変動する主な要因

- ・ L P ガス輸入価格、為替の変動
- ・ 気温高等によるL P ガス販売数量への影響

産業ガス・機械事業の見通し

売上高・営業利益 見通し



営業利益増減見通し



通期業績予想の達成に向けて

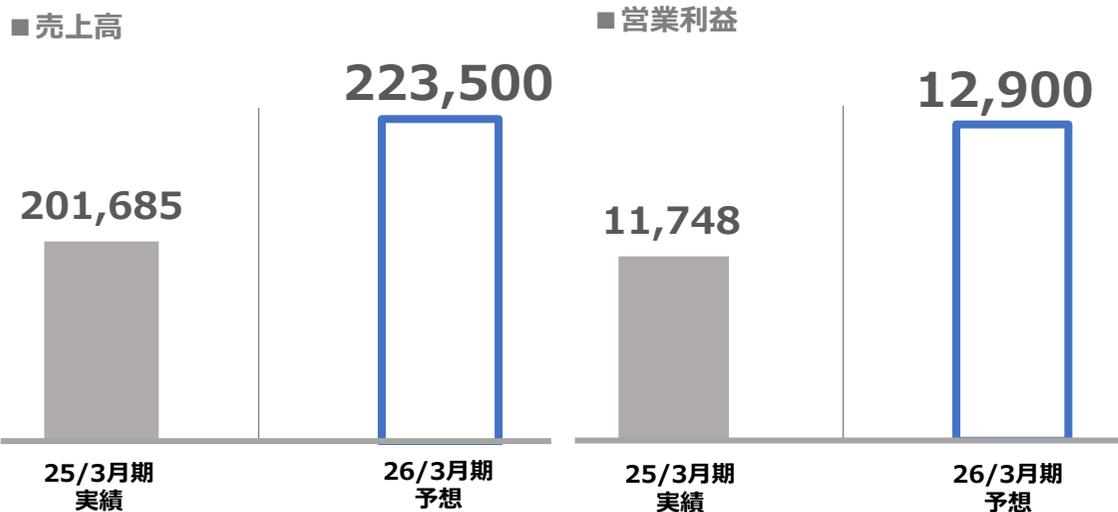
- ・エアセパレートガスの拡販と適正な価格対応**
 - ・半導体（データセンターやAI市場向け）や電子部品業界等への拡販に注力
 - ・調達コスト・物流コスト上昇への適正な価格対応
- ・液化水素の新規需要取り込み**
 - ・脱炭素需要に対し、液化水素や関連設備の拡販を強化
- ・特殊ガスの事業拡大**
 - ・調達コスト・物流コスト上昇への適正な価格対応
 - ・ヘリウムガス・炭酸ガスの安定調達、安定供給
- ・機械設備の拡販**
 - ・脱炭素関連など成長分野向けに機械設備の拡販

業績が変動する主な要因

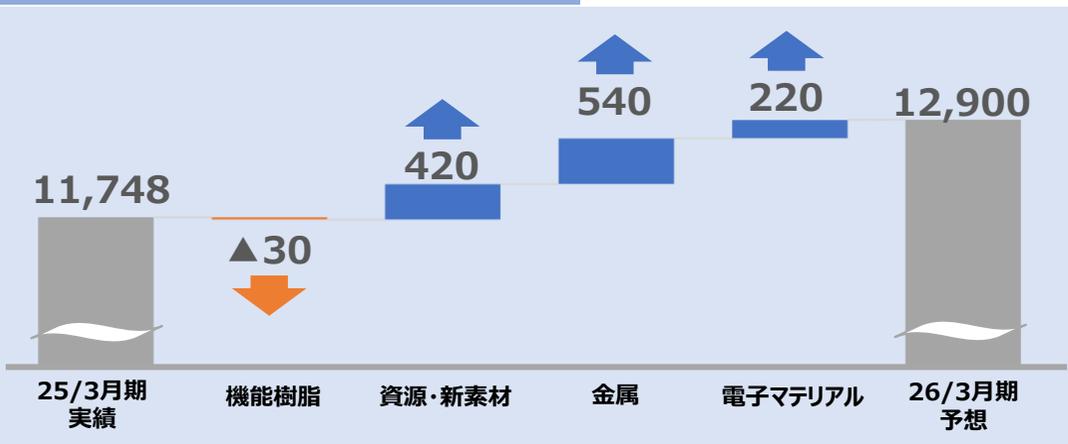
- ・製造コストや物流コスト上昇
- ・製造業の生産動向

マテリアル事業の見通し

売上高・営業利益 見通し



営業利益増減見通し



通期業績予想の達成に向けて

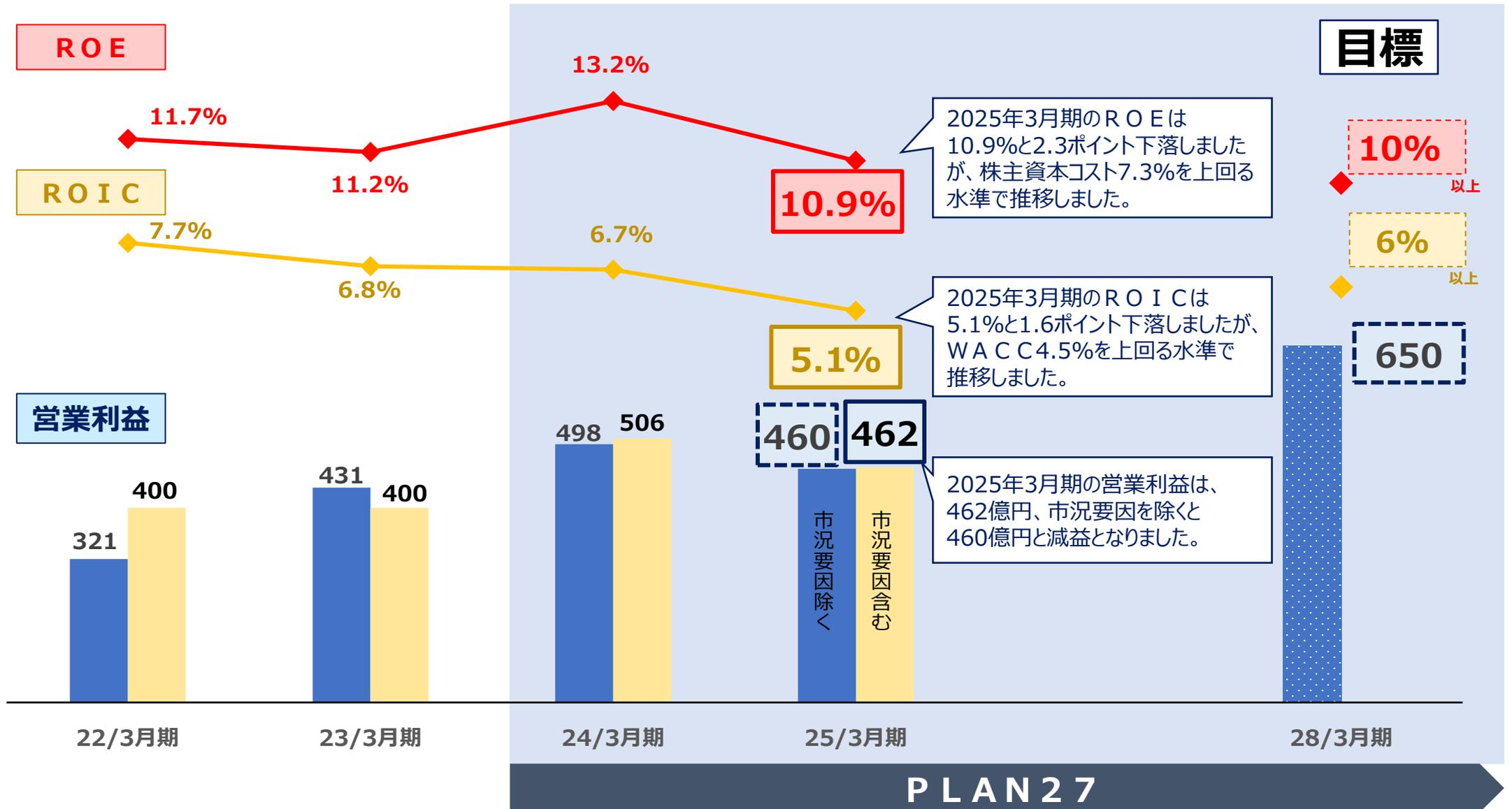
- 資源事業の強化**
 - ノルウェー産グリーンチタン鉱石の販売強化
 - バイオマス燃料の拡販
 - 重要鉱物資源の確保に向けた取り組み強化
- 金属事業の拡大**
 - 国内加工拠点を活用したステンレスの拡販
 - 海外金属加工事業の拡大
- 循環型ビジネスの推進**
 - 資源リサイクル事業などの取り組み推進

業績が変動する主な要因

- 資源市況の変動
- 為替変動

中期経営計画「PLAN27」の進捗

経営数値目標（資本コストや株価を意識した経営）



資本コストや株価を意識した経営に向けた取り組み

① 配当方針の見直し（対象：2026年3月期以降）

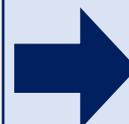
- ・配当方針の変更（方針を統一）

① 岩谷産業 事業分

2028年3月期に、配当性向20%以上を目標とする累進配当

② コスモエネルギーHDの持分法化に伴う利益影響分

コスモエネルギーHDの在庫影響を除く当期純利益に持分比率を乗じた金額の20%を配当



- ・累進配当
- ・2028年3月期に配当性向20%以上

- ・中間配当を実施予定

② 資本効率改善に向けた取り組み

- ・政策保有株式の縮減
⇒2024年度にグループ会社を含めて売却を推進。縮減に向けて対応継続
- ・保有資産の売却

③ コーポレート・ガバナンスの強化

- ・取締役任期を2年から1年に変更予定

資本政策

PLAN 27

	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期	2028年3月期
net DER	0.35倍	0.61倍	0.61倍	0.6倍程度
有利子負債	1,394億円	2,545億円	2,644億円	2,900億円程度
投資額	700億円	1,728億円※1	687億円	5年間累計で4,700億円

※1 コスモエネルギーHDの株式取得含む

2025年3月期



重点施策の進捗

水素戦略

- ・水素社会推進法に関する値差支援制度への申請を実施
- ・商用車向け水素ステーションの開所
 - ①FCトラック用水素ステーション「岩谷コスモ水素ステーション平和島」開所
 - ②東京都交通局の有明自動車営業所内にFCバス用水素ステーション「岩谷コスモ水素ステーション有明自動車営業所」を開所



FCトラック、FCバスの水素ステーション充填シーン（左：平和島、右：有明自動車）

- ・水素燃料電池船「まほろば」の運航開始
大阪・関西万博の海上旅客輸送を開始

重点施策の進捗

- 2030年度にCO2フリー水素サプライチェーンを構築する方針に変更なし
- 但し、事業環境の変化に伴い、施策を一部変更

当初計画からの変更点

グリーンイノベーション基金を活用したCO2フリー水素サプライチェーン商用化実証の遂行

【変更点】実証時：豪州での製造 ⇒ 国内製造

【要因】豪州ビクトリア州での水素製造開始に遅延が見込まれるため



商用段階においては、複数の海外候補地を製造拠点として検討中

豪州におけるグリーン水素製造（Stanwell社、丸紅(株)、Keppel社、当社で事業化調査）

【変更点】事業化断念

【要因】豪州クイーンズランド州における政権交代により、プロジェクトへの追加出資が無くなり、事業化が困難と判断したため



国内への調達ソースとして、他エリアにおける水素製造を検討中

国内における、廃プラスチック由来の水素製造を事業化

【変更点】事業化は一旦凍結

【要因】事業コスト(プラント価格や工事費)が大幅に増加したため



事業化に向けて再検討中

重点施策の進捗

脱炭素戦略

・「グリーン炭酸」の製造

さとうきび由来の高純度CO₂製造プラントをタイで現地企業と建設予定。「グリーン炭酸」として、東南アジア諸国、日本での安定供給を目指す。
(令和5年度補正グローバルサウス未来志向型共創等事業に採択)

・CO₂オフセットガスの販売／供給

J-クレジットを活用し、CO₂をオフセットした、「カーボンオフセットカセットガス」販売／大阪・関西万博向け、カーボンオフセットLPガスの供給開始。

国内エネルギー・サービス戦略

・LPガス直売顧客数が9万世帯増加

(2024年3月末：111万世帯→2025年3月末：120万世帯)

* 千葉県や茨城県を中心にLPガス小売事業を展開するアイエスジー(株)の子会社化等に伴う増加

・イワタニゲートウェイの活用拡大

長崎県五島市と「高齢者見守り・介護予防等に関する連携協定書」を締結。

重点施策の進捗

海外戦略

・グリーンな高純度チタン鉱石の調達開始

ルディック・マイニング社（ノルウェー）の工場建設が2024年12月末に完了。2025年度中に日本向けに初出荷予定。

・重要鉱物資源 レア・アースの新ソース開拓

独立行政法人エネルギー・金属鉱物資源機構（JOGMEC）と日仏レアアース(株)を設立し、フランスのレア・アース精錬会社に出資。日本向けレア・アースの調達を増強。

・シンガポールに各種産業ガスの供給拠点を開設

非財務戦略

	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期	PLAN27目標
女性管理職比率	6.0%	6.9%	7.8%	10%以上
社員1人あたりの年間研修費用	86千円	118千円	138千円	150千円
男性育児休業取得率	30.6%	55.9%	73.5%	100%

コスモエネルギーホールディングス株式会社との 資本業務提携について

協業検討案件

1. 国内における水素製造（コスモ石油（株）の千葉製油所を活用）

- ・液化水素製造プラントの建設に関して協議中
 - ↳ 事業スキーム、生産規模を2026年3月期に決定予定
 - ↳ 稼働開始は2020年代後半を予定



2. 岩谷コスモ水素ステーション合同会社による、水素ステーションの建設推進

- ・2024年4月開所 岩谷コスモ水素ステーション平和島（FCトラック）
- ・2025年3月開所 岩谷コスモ水素ステーション有明自動車営業所（FCバス）



岩谷コスモ水素ステーション平和島



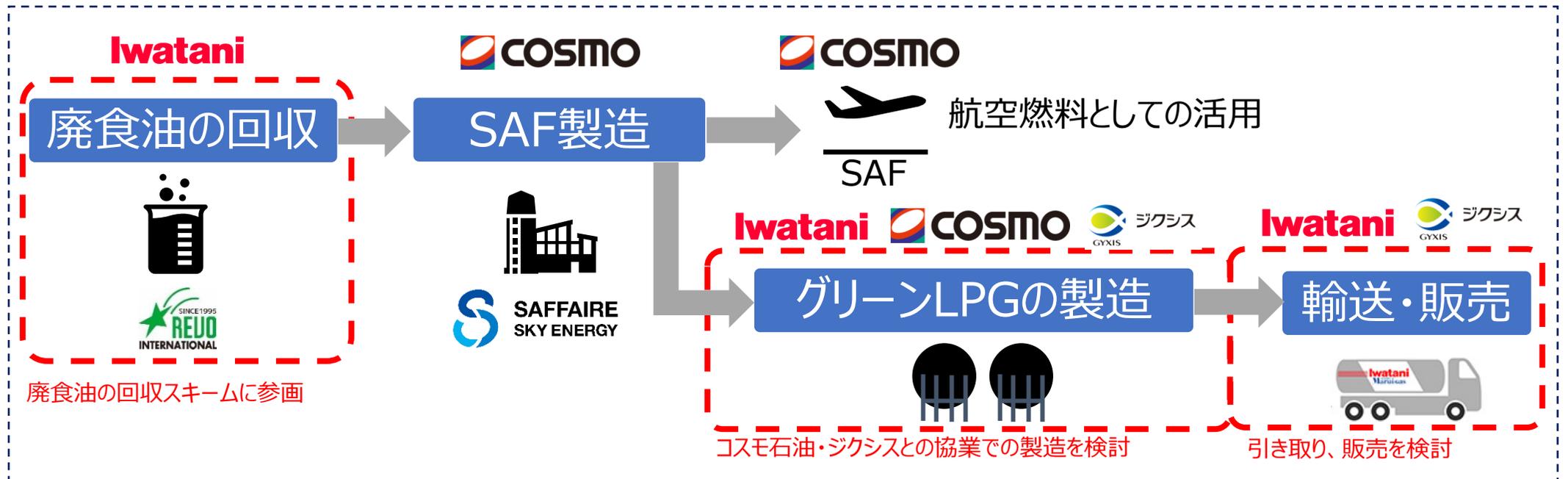
岩谷コスモ水素ステーション有明自動車営業所

- ・2027年3月期予定 岩谷コスモ水素ステーション新砂（FCトラック）

協業検討案件

3. SAF（持続可能な航空燃料）・グリーンLPG製造・供給

- ・SAF製造に伴うグリーンLPGの製造・供給スキームの検討
⇒SAF製造につながる廃食用油回収に向け、当社顧客ネットワーク活用を検討
- ・Fry to Fly Projectに参画（2025年2月～）



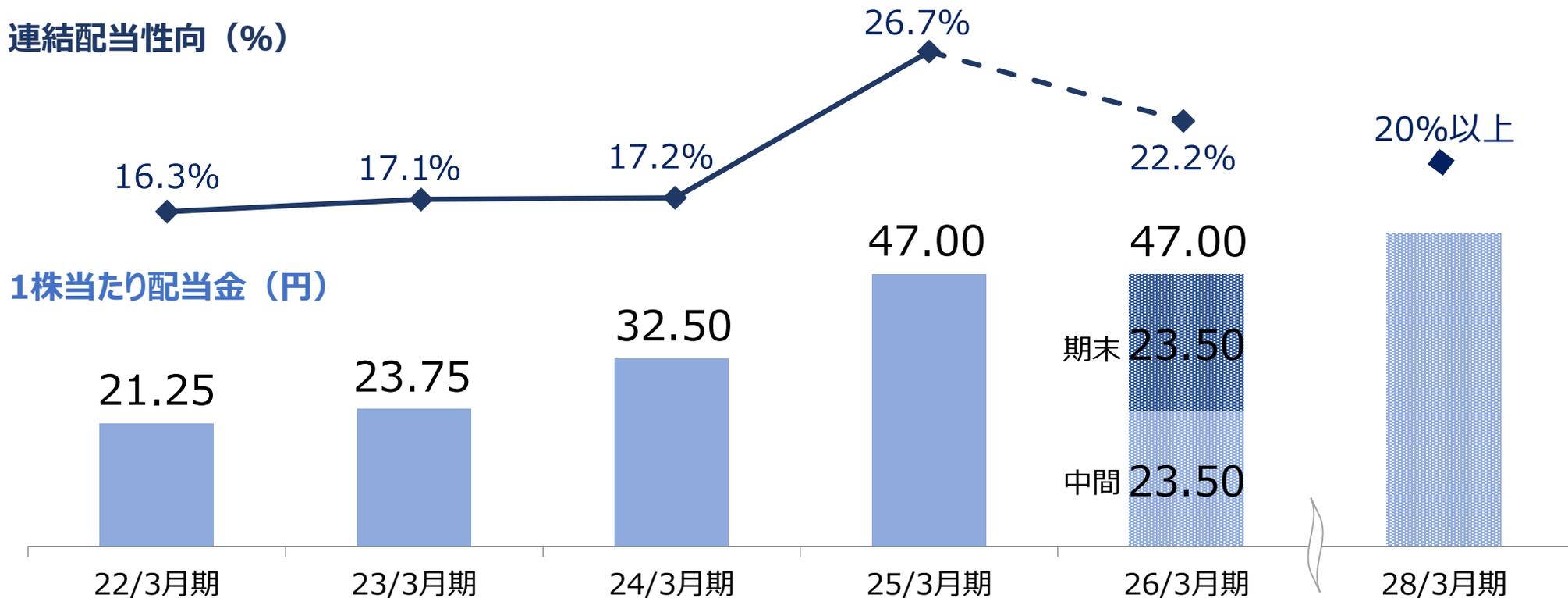
株主還元

・2025年3月期の配当は、14.50円増配となる47円を予定。

【株主還元方針】（対象：2026年3月期以降）

累進配当 + 2028年3月期に配当性向20%以上

⇒ 2026年3月期の配当については、年間47.00円（中間23.50円、期末23.50円）を予定。



※2024年9月30日を基準日、2024年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき4株の割合で株式分割を実施しました。記載内容は、当該株式分割後の金額です。

【参考】2025年3月期 決算実績 キャッシュ・フロー計算書

- 営業キャッシュ・フローは524億円の収入。投資キャッシュ・フローは、LPガス小売事業者のM&Aや産業ガス製造プラントの増強等により584億円の支出となり、結果、フリー・キャッシュ・フローは59億円の支出。

(単位：億円)

	2025年3月期 実績	2024年3月期 実績	前年差 (増減額)
営業キャッシュ・フロー	524	548	▲24
投資キャッシュ・フロー	▲584	▲1,612	+1,028
フリー・キャッシュ・フロー	▲59	▲1,064	+1,004
財務キャッシュ・フロー	▲20	1,054	▲1,074
換算差額等 ※1	19	13	+6
現預金等の増減額 ※2	▲60	3	▲63
現預金等の期首残高	336	332	+3
現預金等の期末残高	275	336	▲60

※1 「換算差額」「連結の範囲の変更に伴う増減額」「非連結子会社との合併に伴う増加額」の合計を表示しております

※2 「現預金等の期首残高」と「現預金等の期末残高」の差額を表示しております

【参考】PLAN27 セグメント別収益計画 進捗

PLAN27

(単位：億円)		2022年度 実績	2023年度 実績	2024年度 実績	2025年度 ※通期予想	2027年度 計画
総合エネルギー事業	売上高	3,932	3,571	3,787	4,060	4,840
	営業利益	143	201	195	219	255
産業ガス・機械事業	売上高	2,404	2,621	2,714	2,759	3,400
	営業利益	165	217	175	188	255
マテリアル事業	売上高	2,424	1,982	2,016	2,235	3,060
	営業利益	126	123	117	129	175
その他・消去	売上高	302	303	310	310	400
	営業利益	▲34	▲35	▲26	▲45	▲35
合計	売上高	9,062	8,478	8,830	9,364	11,700
	営業利益	400	506	462	491	650

Iwatani